

## 最近の異常気象に合わせて、防災マップの見直しが必要では

総務部長／来年度にため池も含めて見直しをしていく。



金子憲太郎 議員

## 国民健康保険事業について

**議員** 国民健康保険事業の運営が市から県に移行することのだがなぜ移行するのか。そしてどのように変わるのか。

**市長** 国民健康保険の構造的な課題として、加入者の年齢層が高く、医療費一人当たりの水準が高いことなどに対応するため、来年度から県が国保事業の財政運営の責任を担うことにより制度の安定化をはかることになった。そして、市町村は

## 発達障害について

県から示された標準保険料率を基に賦課・徴収を行い、県に納付することになる。これにより医療費の急激な増加による年度末の歳入不足への対応といった心配はなくなる。また、本市への影響については、現在、県及び県下21市町と国保連合会で協議検討されており、具体的なことは10月中旬に県から公表される予定。

**議員** 国保の税額はどのようなのか。

**市民生活部長** 当分の間は急激な変化はさせないと聞いている。

**議員** 国保事業がこんなに苦しい状況になってきているのは、国庫負担金の減少が原因であり、この点を改善させなければ国保事業は崩壊すると思うがどのように考えるのか。

**市長** 市長会としても、このままでは国保会計が持たないということで、国に対しても改善するよう要望をしている。



**議員** 本市での発達障害児についての状況と対応は。

**福祉保健部長** 乳幼児の健診時に身体に関する検査をはじめ、言葉の発達や行動面または理解力などの発達についても検査と観察を行っている。また、1歳6カ月や3歳児健診で発見しやすい発達障害児への早期支援を行うため、5歳児健康相談事業も取り組んでいる。

**教育長** 小・中学校では発達障害や読む、書く、聞く等の学習障害（通称LD）がある児童・生徒については、一人ひとりの特性に応じた支援を行っている。

## 市民が利用されている島鉄跡地は

市長／引き続き、利用していただいていると思っています。



中村久幸 議員

## 島原鉄道跡地の無償譲渡について

**議員** 今後はどのような経緯を経て、いつごろ正式に市の管理となるのか。また、跡地活用計画の内容を伺いたい。

**市長** 今年度中を目指し、現在、譲渡資産の確定作業や、各種調整を進めている。

利活用策については、今後、検討、研究を進めて行くが、現在は、旧有家駅から旧北有馬駅間に水道の送水管を埋設しているところである。

**議員** 市民の方が島鉄跡

地を利用されている所が、借地契約とか賃借契約も含めて、かなりの数があると聞いているが、市の管理となった場合の対応はどのように考えておられるか。

**市長** 譲渡を受ける段階で、権利関係は白紙にしていたかどうか、島鉄へお願いをしている。

**議員** 今いきなり市ものになったので、全部返してくれということはないと思うが。

**市長** 市の方針が固まるまでは、引き続き、利用していただいていると思っている。



利用中の島鉄跡地

## 自治会活動補助金の見直しについて

**議員** 今回、減額になる

自治会に関しては、緩和措置は有難いと思うが、やっともな支給になると期待している自治会にとつては、緩和措置とは言えないと思う。次年度からの考えは。

**市長** 交付金の額が算定上増える自治会については、その上限額を少しでも増やせるように、現在検討をしている。

## 「コホート研究」について

**議員** 平成27、28年度で行われたコホート研究の成果を伺いたい。

**市民生活部長** アンケートは8,744名が協力してくださり、その内、ピロリ菌検査は2,993名、約34%が受けられた。そのうち345名、約11%の方にリスクが高いという判定がされたと承っている。

**議員** 今回受けられなかった人たちも、今後、受けられるような体制を取っていただけないか。

**市長** 前向きに考えていきたい。